

☆検図の基本的概念、チェックシートの必要性、作り方、運用方法を事例を交えて解説！
市販の辞書のような解説でなく、実際の設計で使える実用的なノウハウをお伝えいたします

図面ミスを失くす、効果的な検図の進め方

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/241281>

◆日時:2024年12月17日(火) 10:30~16:30

◆会場:自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料:1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:(有)光匠技研 取締役社長 野々山 満 氏

【習得知識】

- ・検図の重要性を知り、効果的な検図方法を習得できる
- ・検図の必須アイテム:チェックリストの作り方を伝授
- ・市販の参考書では、なかなか得られない実践的なノウハウが習得できる

【講座の趣旨】

精度の良い図面は 生産性を高め、製品の品質向上やコストダウンにも繋がります。その反面、設計ミスは、たとえ1つであっても、複数の部品の作り直しに繋がったり、設計のやり直しを迫られたりと、会社や顧客に大変大きな損害を与えます。全ての設計者は ミスの無い正確な図面を書くことを目指していると思いますが、なかなか100%の図面を一度で仕上げることは出来ません。ミスの無い図面に仕上げる為には、何度も検図作業を行い、図面ミスを一つ一つ潰していく必要があります。しかし、検図について書かれている書籍は少なく、検図について学ぶ機会も少ないため、多くの設計会社では、経験を積んだ設計者だけが検図を一手に引き受けていて、経験豊富な設計者の力が生かされていないのが現状です。担当設計者は上司が最終検図を行うので多少のミスがあってもかまわないと考えるのは間違った考え方です。製図者自身が自分の書いた図面をチェックし 自信を持って完璧な図面を提出し最終検図を受けることで、経験豊富な設計士の力が発揮される機会が増え、さらに良い品質を作り込む機会が増える。これが正しい理解です。各設計者が共通した検図のチェックポイントを持つことにより、客観性を確保し、検図に割かれる時間を短縮しつつ、検図漏れを極力減らせることに繋がります。

本講座では、検図の基本的概念・チェックシートの必要性・作り方 運用方法を、実際に使われているチェックシートや設計図を盛り込んだ講義資料を使い解説します。

本講座を通して、チェックシートの有効性を理解し、図面ミスを極力減らせる検図方法を学んでいただけたと思います。

【プログラム】

1. 検図の基礎

- 1-1 検図における基本的な考え方
- 1-2 検図を行う上でのノウハウ
- 1-3 チェックリストの役割
- 1-4 単純ミスについて
- 1-5 単純ミス、種類ごとの対策
- 1-6 チェックリスト以外のミスを減らす方法

2. チェックリストの作り方

- 2-1 現状の問題点の洗い出し、要因分析
- 2-2 検図チェックシートの作り方
- 2-3 各種事例ごとのチェックリスト
- 2-4 現場と同じ目線で考えるチェックリストとは？

3. チェックシートの有効活用法

- 3-1 チェックリストのPDCA
- 3-2 不具合を次に生かす
- 3-3 チェックシート、その他の活用法まとめ
- 3-4 実際のチェックリスト作成例
- 3-5 まとめ

『検図【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>